

# 事務局移転のお知らせ

平成27年10月1日より、NPO法人「子どもセンターるーも」の事務局が移転しました。

## 子どもセンターるーも事務局

〒640-8044 和歌山市板屋町22  
和歌山中央通りビル5階

[アクセス]  
南海本線「和歌山市駅」徒歩5分



## ご支援ありがとうございます

また、多くの団体や個人の方々から金銭や物品のご寄付をいただき、本当にありがとうございます。子どもたちへの支援のために大切に使わせていただいています。今後とも、皆様の温かいご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

和歌山南口ターミナル、和歌山県更生保護女性会 第2分会芦原有志、和歌山東南口ターミナル  
コストコホールセールジャパン(株)、株式会社ウチダ その他、個人の方から寄付をいただいている。(順不同、敬称略)

## ご支援のお願い

子どもシェルターへの公費援助はまだまだ不十分で、財政基盤はとても脆弱です。  
ぜひ、子どもたちのために、正会員、賛助会員、法人賛助会員として、私たちの取り組みを支えてください。

### 衣類と生活用品のご寄付を募集しております。

新品のみ 下着、靴下、パジャマ、タオル、タオルケット、シーツ

洗濯済み 毛布、ズボン、ジーンズ、Tシャツ、ポロシャツ、Yシャツ、トレーナー  
セーター、ブラウス、カーディガン、ジャンパー、オーバーコート



## ご支援の方法

賛助会員になって、子どもたちと一緒に支えて下さい。

ご寄付をお願いします。金額は問いません。

お寄せいただいたご寄付は、子どもたちのために活かされます。

ボランティアとして参加をお願いします。  
シェルターにはたくさんの人の力が必要です。

「子どもセンターるーも」の研修、イベント活動、広報活動など、  
可能な形でご参加ください。

会員・寄付	正会員／入会金 5,000円 年会費 5,000円 賛助会員／個人1口 3,000円(年間) 法人1口 10,000円(年間)
振込先	銀行名／きのくに信用金庫 本店営業部 口座番号／2629421 口座名義人／NPO法人子どもセンターるーも
	銀行名／ゆうちょ銀行 口座番号／14730-16476891 口座名義人／特定非営利活動法人子どもセンターるーも トクヒコドモセンタールーも

事務局

特定非営利活動法人「子どもセンターるーも」  
〒640-8044 和歌山市板屋町22  
和歌山中央通りビル5階

お問い合わせ先

073-425-6060  
受付時間 10時～17時まで

特定非営利活動法人  
**子どもセンターるーも**

# News Letter

NO.4  
発行日／2015年10月吉日

## 子ども達と関わって学んだこと

和歌山県に子どもシェルターるーもが開設されてから、2年あまり経ち、その間、24名の子ども達が入居しました。るーもで生活する姿をみると、今まで身体的虐待や心理的虐待、性的虐待による耐えがたい痛みやつらさ、不安を抱えながら、そして育児放棄による底知れない不安やさみしさを抱えながら(虐待とは知らなかった子どももいます)生きてきた子ども達が、やっと休める場所、子どもらしく生きる場所を見つけたように思えます。スタッフはそういった子ども達の居場所にいる一人として、共に過ごしています。そんな中で子どもらしさ、その子の自然な姿が見られる時はスタッフにとって喜びの時です。

私自身、子どもと同じ目線になることや適切な距離の取り方の感覚がよくつかめずに空回りをする時期がありました。しかし、研修を受けさせて頂いたり、スタッフ間やボランティアの方々と悩みや考えを話し合ったり、今も自問自答をしながら日々奮闘しています。今後も、子ども達の目線に立ち、何を思っているのか、何をしてほしいのか、を理解し、それに福祉の現場で働く者として、また一人の人間としての適切な対応を心掛けていきたいです。

また、退居する際、るーもに向けた手紙に「るーもに居れて幸せだった」と書いてくれる子どもがいます。これを読むと私は嬉しい気持ちになる反面、複雑な気持ちにもなります。なぜなら、ここにいることが子ども達の今後の人生において最高の幸せになってはいけないと思うからです。子ども達の幸せを願いながら、これからもスタッフ一同、子ども達に寄り添ってまいります。

最後に、このような機会をくださった関係者の皆様に感謝を申し上げます。そして、自分の居場所を失っている子ども達、また、周りの方々に、子どもシェルターという居場所を広く知っていただききっかけになればと思います。



NPO法人子どもセンターるーも  
スタッフ A

# シェルターでの生活

8:00	朝食
8:30	掃除
9:00	洗濯
9:30	自由時間
12:00	昼食
12:30	自由時間
18:30	夕食
19:00	自由時間／入浴
22:50	自室へ
23:00	就寝・消灯

## ある日の献立

朝食	白パン、ヨーグルト、ポトフ
昼食	オムライス、スープ
夕食	ご飯、鰯のフリッターとささ身のケチャップ煮、野菜炒め、キュウリの浅漬け

## ○ケース会議

るーもでは、それぞれの子どもについて、大ケース会議と小ケース会議の2種類の会議を開催しています。

大ケース会議は、主に子どもの入居段階と退居段階に行ないます。理事長、副理事長、るーも担当弁護士、子ども担当弁護士(コタン)、スタッフ、児童相談所などの関係機関が参加し、子どもを取り巻く状況や課題、支援方針等について話し合います。

小ケース会議は、子ども本人、コタン、るーも担当弁護士、スタッフ、児童相談所などの関係機関が参加します。子どもの状況によって異なりますが、概ね2週間に1回程度の頻度で行われています。ここでは、子ども自身から、るーもでの生活を感じていることや、これからのことについての希望や不安などを話してもらい、どのようにケースを進めいくかみんなで話し合います。子どもの意思を把握し、実現していくためにとても重要な会議です。

## ○お誕生会・イベント

お誕生日会やその他イベント(クリスマス会など)を開催しています。

お誕生日を祝ってもらったり、クリスマス会等を経験したことがない子ども達もいますので、大切にしています。



## ○スタッフの研修

スタッフを中心に月に1回事例検討を中心とした研修会を開催して、子どもへのよりよい支援のあり方を検討しています。困難ケースなどの内容を担当スタッフから提出したものをグループワーク形式で話し合っています。運営担当理事(臨床心理士)がスーパーバイザーとしての役割を担当しています。また、外部の研修にも積極的に参加してスタッフの知識や技能を高めています。

## ○意見箱の設置

居間に意見箱を設置して子どもからの意見や要望を書いてもらうようにしています。理事の一人が開封しています。対応については、本人から話を聞いて了解を取った上で運営委員会等で検討しています。投函された内容は「るーもへの感謝」、「不満や鬱積した感情」などが多いですが、るーもでの生活に関する具体的な要望もたくさんありました。子どもの要望に応えられたものとして、「ストレス解消のための室内運動器具やゲーム類の整備」、「外出希望への対応」、「教科書・参考書の整備と教員免許のあるボランティアスタッフの配置」などがあります。

意見箱を通して、自発的な意見や感情表現ができるようになってほしいと思っています。自己否定感情が強い子ども達に、「表現できた自分を認められるようになり、人をも信じられることになる」と願って真剣に受けとめていきたいと考えています。

## ○箱庭療法など

るーもには、面談机と、箱庭を置いた部屋があります。箱庭は一つの箱が視野に収まるように 57cm×72cm×7cm となっていて中に砂が入っています。子どもが遊具(人、家、動物、乗り物、植物、虫、柵等々)を箱に自由に置き言語化出来ない内面を表現します。愛着、攻撃、楽しさ、寂しさ、死、別れ等子ども達は様々な表現をします。担当者は、出来た作品を評価したり解釈することはせずプロセスを子どもと共に味わう事に徹します。「共に味わう」受容的姿勢こそ箱庭の核となるものです。また、言語化が可能な、抵抗感が少ない子どもには並行して非指示的面談を行います。過去、現在、未来の自分について自ら考察が出来る様、会話を通じて寄り添う形で支援しています。



# シンポジウム開催のお知らせ 平成28年1月24日(日)

平成28年1月24日、下記のとおり、NPO 法人子どもセンターるーも設立 3 周年を記念して、シンポジウムを開催します。多くの皆様に、ご来場いただければ、幸いです。

## 記

名 称	「子どもたちのSOS—今私たち大人にできること—」
日 時	平成28年1月24日(日) 午後1時から4時30分まで
場 所	和歌山県民文化会館小ホール (和歌山市小松原通り一丁目1番地)
入場料	無料
内容について	【第1部】パネルディスカッション 「子どもシェルターの現状と課題」(仮題) ○コーディネーター：桑原義登（るーも副理事長、相愛大学名誉教授） ○パネリスト：社会福祉法人カリヨン子どもセンタースタッフ ：永井真理子（元和歌山県子ども・女性・障がい者相談センター次長） ：松木正恵（るーも理事、和歌山信愛女子短期大学 非常勤講師） ：伊藤あすみ（るーも理事、弁護士）

## 「子どもシェルターの現状と課題」(仮題)

- コーディネーター：桑原義登（るーも副理事長、相愛大学名誉教授）
- パネリスト：社会福祉法人カリヨン子どもセンタースタッフ  
：永井真理子（元和歌山県子ども・女性・障がい者相談センター次長）  
：松木正恵（るーも理事、和歌山信愛女子短期大学 非常勤講師）  
：伊藤あすみ（るーも理事、弁護士）

## 【第2部】桐蔭高校による演劇

子どもシェルターでの生活の様子などを演劇で表現していただく予定



2014年2月11日「子どもシェルターるーも開所記念シンポジウム」

# 総会開催のご報告

平成27年5月28日に総会が開催されました。

平成26年度の事業報告及び活動報告が行われた後、平成27年度の事業計画及び予算案や今後のるーもの課題等について、活発な議論が行われました。